

近畿大学病院 Free Wi-Fi サービス 利用規約

令和4年9月1日制定

(目的)

第1条 本規約は、近畿大学病院（以下「当院」という。）が患者さま及び患者さま家族（以下「利用者」という。）の利便性の向上を図ることを目的として提供する Wi-Fi によるインターネット接続サービス（以下「本サービス」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

(利用場所)

第2条 利用場所は病棟及び外来エリアとする。ただし、接続可能な台数や、電波の届く範囲に限りがあるため、利用場所における安定した接続環境を保証するものではない。

(利用者が準備するもの)

第3条 本サービスの利用を希望する者は、利用にあたって、次に掲げるものを準備しなければならない。なお、当院からの機器、ソフトウェアの貸出は行わない。

- (1) スマートフォン・パーソナルコンピューター等の端末
- (2) 5GHz に対応した Wi-Fi インターフェース

(サービスの利用)

第4条

1. 本サービスの利用は、本規約に同意した個人に対して認めるものとし、利用者は本サービスを利用した時点で、本規約に同意したものとみなす。
2. 本サービスの利用者は、Wi-Fi 機能を搭載した機器、及び機器の設定等を、自身で準備するものとし、機器等の貸出、当院への技術的な質問、接続に関するサポート等は一切受け付けないものとする。
3. 本サービスの利用料は無料とする。ただし、利用者がインターネット上で利用した有料サービスは、利用者が負担するものとする。
4. 本サービスへ接続する機器等のセキュリティ対策は利用者が行うものとする。
5. 利用者は、本サービスは不特定多数が利用し得るとの性質上、悪意ある第三者により通信内容を盗み見される可能性があることを認識したうえで利用するものとする。
6. 本サービスについて、常に安定した接続環境を保証するものではない。
7. 利用者は、利用者以外の者の迷惑とならないように配慮して使用しなければならない。

(利用の記録と制限)

第5条 当院は、本サービスの適切な利用を図るため、利用者の本サービスの利用ログを記録し、特定のインターネットサイトへの接続や通信帯域を制限することができる。

(禁止事項)

第6条 利用者は、本サービスの利用にあたって、次に掲げる行為を行ってはならないものとする。また、利用者が当該行為を行った場合、当院は事前に通告することなく当該利用者の本サービスの利用を停止することができる。

- (1) 本サービスにおける SSID 及びパスワードの第三者への譲渡、貸与等する行為
- (2) 第三者又は当院の著作権、肖像権、財産、プライバシーその他の権利を侵害する行為、又はこれらを侵害するおそれのある行為
- (3) 第三者又は当院を誹謗中傷する行為
- (4) 公序良俗に反する行為若しくはそのおそれがあると当院が判断する行為又は公序良俗に反する情報を第三者に提供する行為
- (5) 犯罪行為若しくは犯罪行為に結び付く行為又はそれらのおそれのある行為
- (6) 嫌悪感を抱かせ、若しくはそのおそれがある電子メール又は不特定多数に対する広告、宣伝、勧誘等に係る電子メールを送信する行為
- (7) 当院又は第三者の情報を改ざん、消去等する行為
- (8) 統計的な平均利用を著しく上回る大量のデータ送受信などで、第三者又は当院のネットワーク運用に支障を及ぼす行為
- (9) コンピュータウイルス等の有害なプログラムを使用、提供等する行為
- (10) 本サービスに支障をきたすおそれのある行為、本サービスの運営を妨げる行為
- (11) 本サービスの不正な利用又はそれを助ける行為
- (12) 法令に違反し、又は違反するおそれのある行為
- (13) その他当院が不適切と判断する行為

(運用の維持)

第7条

1. 当院では、本サービスの使用状況を把握するために、次に掲げる情報を、本サービスのサーバーにて把握・管理するが、その情報が他の利用者や第三者へ情報漏洩等しても、当院の責に帰すべき事由に基づく場合を除きその責任を一切負わないものとする。また、その取得した情報のうちWi-Fi アドレス(MAC アドレス、IP アドレス)等については、本サービスの運用改善のため使用することがある。
2. 当院は、本サービスの利用に関する情報を、裁判所、捜査機関等の公的機関から法令に基づき提供を求められた場合、利用者の同意がなくとも、これに応じることができるものとする。

(サービスの停止)

第8条 当院は、次の各号のいずれかに該当する場合は、本サービスの提供を停止することができるものとする。

- (1) 本サービスのシステムの保守又は工事を行うとき。
- (2) 本サービスのシステムに係る設備やネットワークの障害その他やむを得ない事由があるとき。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、本サービスの運用上、当院が必要と認めるとき。

(免責事項)

第9条

1. 当院は、本サービスの提供に関連して利用者が生じた損害について、本院の責に帰すべき場合を除き一切の責任を負わない。
2. 当院は、本サービスの内容及び利用者が本サービスを通じて得る情報について、その完全性、正確性、確実性、有用性等のいかなる保証も行わない。
3. 当院は、利用者が使用するいかなる機器、ソフトウェア等についても、本サービスに係る一切の動作保証は行わない。
4. 当院は、利用者が本サービスを利用することにより第三者との間で生じた紛争等に関して、本院の責に帰すべき場合除き一切責任を負わない。
5. 当院は、本サービスの提供、遅延、変更若しくは停止、本サービスを通じて登録、提供、収集等された情報の消失又は本サービスを通じたコンピュータウイルス感染等によるデータの破損、漏洩等により生じた利用者及び第三者が被ったいかなる損害についても、本院の責に帰すべき場合を除き一切責任を負わないものとする。
6. 当院は、本サービスにおける接続及び通信速度を保証するものではない。
7. 本院が本サービスに関し利用者に対して負う損害賠償責任は、本院の故意又は重過失に基づく場合を除き、金1万円を上限とする。

(裁判管轄)

第10条

1. 本サービスに関連して、利用者と当院との間で紛争が生じた場合には、双方がともに誠意をもって協議するものとする。
2. 前項の協議をしても解決しない場合、大阪地方裁判所又は大阪簡易裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とする。

(規約の変更)

第11条 当院は、必要があると認めるときは予告なく、利用者一般の利益に適合し、又は変更に係る事情に照らして合理的な範囲において、この規約を変更できる。なお、この規約の変更後に利用者が当該変更を知りながら異議を申し出ることなく本サービスを利用したときは、利用者は変更後の規約に同意したものとみなす。

附則

この規約は、令和4年9月1日から施行する。